

件名	わかあゆ学園の整備について
受付日	令和8年6月5日
ご意見・ご提案 の概要	大野町内にある児童自立支援施設のわかあゆ学園について、以前は緑が生い茂り、桜のきれいな場所だったが、今はまるで廃墟のようである。 周囲の垣根は枯れて朽ち果てており、中が丸見えである。入所している子どもたちのプライバシーや個人情報は大丈夫なのか。 更生のための施設のはずだが、あのような整備されていない場所で子どもたちを育てることはどうなのか。 多くの養護施設がきれいになっていると聞くと、あれだけぼろぼろなのに整備しないのか。どこからでも侵入でき、どこからでも逃げ出せそうだが、よいのか。
県の考え方	県立わかあゆ学園につきましては、県立化されてから90年以上の歴史を有する施設であり、主要な建物についても築44年を経過していることから、全体的に老朽化が進んでいます。 そのため、令和6年度から、有識者による「あり方検討会」を開催し、今後の運営方針や施設の再整備について検討を進めています。 一方、垣根の管理につきましては、令和7年度に一部剪定を実施いたしましたが、立ち枯れしている植栽も多いことから、プライバシー保護の観点も踏まえ、対応を検討してまいります。 また、老朽化した建物の改修につきましては、令和7年度から照明のLED化を進めるとともに、今年度は畳の張替えを実施する予定です。 今後も優先順位を踏まえながら、子どもたちの良好な生活環境が確保されるよう、施設の環境整備に努めます。
担当課	子ども・女性部 子ども家庭課